

大木麻理と 佐藤友紀の珠玉シリーズ

vol. 4

『珠玉のバッハ・ヘンデル』
偉大なる340歳の同級生



2025年 **11月22日(土)**

14:00 開演 13:30 開場

聖グレゴリオの家聖堂

東久留米市氷川台 2-7-12 西武池袋線「東久留米」駅徒歩10分

全席自由 3,500円

チケットご予約

▶ <https://teket.jp/627/53255>

▶ 聖グレゴリオの家

電話または「お名前、ご住所、枚数」をご記入の上、FAXでお申し込みください。

TEL 042-474-8915 FAX 042-474-8832

または、ホームページのお問合せフォームより <http://st-gregorio.or.jp/>

主催・お問い合わせ

株式会社ブロウミュージック

info@blowmusic.art

03-5403-6410



URLまたは
QRコードより
お願いします

終演後に
出演者と交流できる
トークティータイム〈無料〉
があります!

Organ

Mari Ohki

Trumpet

Tomonori Sato



曲目

G.F.ヘンデル

歌劇「セルセ」より《オンブラ・マイ・フ》

J.S.バッハ

来たれ、異教徒の救い主よ BWV659

J.S.バッハ

パストラーレ ヘ長調 BWV590

J.S.バッハ

前奏曲とフーガ ニ短調 BWV539

G.F.ヘンデル

協奏曲第3番 ト短調 HWV 287

J.S.バッハ

協奏曲 ヘ長調 BWV 1053R

……ほか

佐藤友紀

トランペット

東京藝術大学卒業。アカンサス音楽賞受賞。
第16回日本管打楽器コンクール第1位。
第69回、第72回日本音楽コンクール第2位。
第2回リエクサ国際トランペットコンクール入選。
第6回フィリップ・ジョーンズ国際コンクール第3位。
東京藝術大学管弦楽研究部非常勤講師
(現:芸大フィルハーモニア)を経て渡独、
ドイツ国立ハンブルク音楽演劇大学にて
マティアス・ヘフス氏に師事。
2006年より17年間首席奏者を務めた
東京交響楽団を2023年に退団し、
現在はソロや室内楽を中心に幅広い活動を行っている。
シエナ・ウインド・オーケストラ客員契約団員。
ARK BRASS、BachArtistsJapan匠、各メンバー。
東京藝術大学、洗足学園音楽大学、
尚美ミュージックカレッジ専門学校ディプロマ科
各非常勤講師。日本トランペット協会常任理事。

大木麻理

オルガン

東京藝術大学、同大学院修了。
DAAD、ボセール財団の奨学金を得て、
リュベックおよびデトモルト国立音楽大学を
満場一致の最優秀の成績で卒業。
第3回ブクステフーデ国際オルガンコンクール邦人初優勝、
第65回「ブラハの春」国際音楽コンクール・オルガン部門
第3位ほか国内外で多数受賞。
CDアルバム「エリネレング」「51鍵のラビリンス」をはじめ、
リリースしたCDがいずれもレコード芸術特選盤に選出。
オルガンで参加した「Live from MUZA」は、
第58回レコード・アカデミー賞の録音部門を受賞した。
豊かな音楽性と高度なテクニック、
個々のオルガンの可能性を活かした音色作りは
各所で高い評価を受けている。
東洋英和女学院大学、東京音楽大学、
静岡英和学院大学にて教鞭を執る。
ミュゼザ川崎シンフォニーホールオルガニスト

大木麻理と 佐藤友紀の珠玉シリーズ

vol.4

『珠玉のバッハ・ヘンデル』
偉大なる340歳の同級生



聖グレゴリオの家聖堂

東久留米市氷川台 2-7-12 ▶西武池袋線「東久留米」駅徒歩10分

TEL:042-474-8915 FAX:042-474-8832 <http://st-gregorio.or.jp/>

聖グレゴリオの家

聖グレゴリオの家は、1979年9月に独立宗教法人として
故ゲレオン・ゴールドマン神父(フランスコ会)によって設立され、祈り、研究、
教育という3本の柱から成り立っています。その目的は、祈り、典礼を祝いながら、
教会音楽の研究、保存と普及、教育を行うことにあります。

聖グレゴリオの家賛助会

故ゲレオン・ゴールドマン神父によって創設された当研究所は、神父の母国ドイツや
諸外国からの物心両面の支援に頼って参りました。しかしながらゲレオン神父の帰天と
援助をして下さった方の高齢化、世代交代に伴い、その支援は必然的に細りつつあります。
海外の支援に頼るのではなく日本社会の中で聖グレゴリオの家の活動を
支えていくために賛助会は2009年に発足しました。